

## 「親子のふれあい」が培う時代を生き抜く力

新年度がスタートしました。MaRUは設立5年目を迎えます。VUCA時代と言われる変化の大きい現代を生きる子どもたちには「自分を大切に思う気持ち」や「人とつながる力」「安心して挑戦できる力」などの“心の土台づくり”が発達心理学の分野で重視されています。それらは親子のふれあいを通して培われるため、MaRUでは法人理念「ふれあいをすべての親子に」のもと、遊びや体験、学びなど多くの活動の中に親子のふれあいを取り入れ、親子の安心と笑顔を支えて参ります。



## 4月のファミリーレッスン

4月25日(土)、ファミリーレッスンを開催しました。普段はママの姿が多いぼぼらすですが、レッスンではパパがふれあい遊びやベビーマッサージを体験。パパが子育てに参加すると、子どもの問題行動・反抗的行動が減り、社会性や情緒発達に良い影響があること、思春期・反抗期の関係性が切れにくく、ママの孤独防止やメンタルケアにもつながることが多くの研究から示されています。乳幼児期の関わりが10年後の親子関係をつくるため、父親の育児参加の機会を創出します。



## 【地域連携】ママのための自分時間講座

4月23日(木)、株式会社Pallet 羽山暁子様を講師にお迎えし、産後ママ向けに「産後の私を見つめる 自分時間講座」を開催。「どんな自分でありたいか」をテーマに講話とワークを通して、参加者それぞれが自分自身と向き合う時間となりました。参加者同士で悩みや想いを共有し「自分の気持ちを大切にしたいと思った」との感想がありました。今後もMaRUでは、キャリア形成などの女性のための支援や活動も意欲的に行っていきます。



## 絵の具で遊ぼう

5月16日17日の2日間にわたり、毎年恒例の絵の具あそびを開催。乳幼児期の親子でも安心して参加でき、ダイナミックに遊べるように準備を進めました。2日間で70名の親子にご参加いただき「慣れない環境でどきどきしていたが、優しく声がけしてもらいうれしかった」「自宅ではできない体験。見たことのない子どもの表情に感動。素敵な思い出になりました」との声が。MaRUでは今後も「おうちではできない体験」「親子でみんなで一緒に楽しむ遊び」を提供いたします。



## 4月も両親学級開催しました

今年度初の両親学級は、4月26日(日)にオンラインも併用で開催いたしました。今回の講師は、Kaziプロジェクトの木村秀則様。「家事を家族事に 対話でつくろう家族のカタチ」と題し、家事シェアや夫婦の対話の大切さについてお話をいただきました。産後をイメージした家事・育児の分担について話し合ったり、お互いに感謝を伝えあうワークを実施。「産後のイメージがつかず不安だったが、夫婦で考えられて安心した」との声がありました。



## 子どもの未来を育てる活動にご支援をお願いいたします

MaRUは、子どもたちの未来を育てる活動を続けています。私たちの、持続的に子どもたちを支える活動に、個人・地域の皆さまのお力をお借りできたら嬉しく思います。皆さまの「子どもたちの育ちのために何かしたい」という想いを、私たちがMaRUの資産を使って形にいたします。MaRUは、「だれかの想いが叶い、想いが循環する場所」としての機能を高めて参ります。ご寄付・ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



## 子どもサポート基金助成期間が終了しました（2024年4月～2026年3月）

MaRUは、2024年度から昨年度までの2年間、公益財団法人子ども未来支援財団様の子どもサポート基金の助成をいただき参りました。この2年間で、ばばらすを通して、子どもたちにたくさんの経験と笑顔を届けることができただけでなく、運営面においてもオペレーションの見直しを行い、アナリティクスを活用したSNS分析、数字やデータをもとにした事業管理など、現代社会や子育て世帯のニーズを捉えた事業運営のため、チャ

レンジする機会を数多くいただきました。寄附者の皆さま、財団の皆さまのおかげで、社会課題解決を行う団体が持続可能な運営に向けての視点について多くの学びをいただき大変心強く感じております。今後は、地域の宝である子どもたちの未来のために、多方面の皆さまと横断的な連携を深め、子育て支援の視点に加え、キャリア育成、女性活躍の推進、男性の主体的な育児参画の支援等についても精一杯活動して参ります。



## — 地域の未来をつくる、子育て支援 — 代表理事 大橋 香朱美

子どもたちは、地域の未来を動かす大切な人材であり、未来の宝です。子どもたちの笑顔と健やかな育ちのためには、子育て支援者だけでなく、地域や企業と一緒に、常に子どもたちに目を向け、動く必要があると考えています。私たちは「孤独な子育てを無くすことで、子育て世帯を助けたい。子どもたちに親子でふれあう時間をたくさんもってほしい」とMaRUの事業をスタートしましたが、現在は、子育て支援という領域を超え、女性の活躍推進や両親の子育てと仕事の両立、先の見えにくいこれからの社会を生きる子どもたちに対する愛着形成や心身の発達支援という、もっと社会を俯瞰し支援の幅を広げる必要性を感じています。MaRUの強みは、子ども、母親、父親たちの側で聞いてきた子育て世帯の声と、子どもたちの成長の土台に必要な支援内容です。地域や企業の皆さまとともに子どもの未来、社会課題を解決する一助になれば嬉しいと考えています。

発行：一般社団法人子育てプラットフォームMaRU 2026.6.1